

法人(事業所)理念		一、決められたことを守り、規律を大切にします。二、常に学ぶ姿勢を持ち、自己成長を追求します。三、協力と信頼を基盤とし、平等な関係を築きます。四、協力と信頼を基盤に、共に調和ある未来を築きます。五、責任をもって、役割を果たします。六、互いを尊重し、不完全さを受け入れ、批判せず、その個性を尊重し、自らの行動で示し、共に喜び合う環境を築きます。							
支援方針		元気にいきいきと！自立した生活を目標とし、障害を受け入れ自ら助けを求められる様になり、困難を乗り越えて社会に適応できる人に育てる。							
営業時間		放課後 9時	時 30	分から 18時	時 30	分まで	送迎実施の有無 あり	なし	サービス 提供時間 放課後14:30-17:40 休校日10:30-15:30(延長~16:30)
		支援内容						具体的な方法	
本人 支援	健康・生活	基本的な生活習慣、自分の身体を守る為の習慣など、最低限の躰、マナーを身に着ける。食事の時の姿勢、マナーを指導し、片付けまで自分で行う。生活習慣の定着を図り日々のルーティンを確認する。定期的な消毒を行い感染対策を行う。定期的な検温を行い体調確認を行う。利用者のいつもと異変、気になる様子は即グループLINEで職員が共有する。定期的な水分摂取。グルテン、カゼイン除去、喉詰めを防ぐおやつ提供。個々のアレルギーの確認。「自分でできる」方法を探り利用者自らができる様支援。身の回りの整理を行い忘れ物をなくす合理的配慮、対策を行う。トイレ使用のマナーを教え、生理用汚物の処理方法指導。「人の身体に触らない、触らせない」を習慣づけ、性被害やトラブルから自分を守る指導。						生活習慣の矯正、体調、健康管理、消毒タイムの設定、グルテン・カゼインを極力排除した食育おやつ提供、やる事リストなど構造化、トイレ支援。アレルギーリスト作成、テーブルマナー講習。アラームの設定、ライフスキルトレーニング	
	運動・感覚	神経伝達に効果的なエクササイズ、発達を促すエクササイズ、感覚を統合させるエクササイズなど多種を組み合わせ、運動(エクササイズ)は発達の土台づくりに必要な重要な療育と考えすべての利用者が自ら進んで楽しく療育に参加できる様、心理的效果を利用しながら行う。障害特性の姿勢、体幹の弱さに対し、エクササイズの他、体幹を整えるトレーニングを行う。目、脳の使い方のバランスの崩れに対し、それぞれ効果のあるエクササイズ、トレーニングを行い発達を促す。感覚過敏、感覚鈍麻の利用者へは個別でサポートを行う。学習の妨げとなる感覚過敏や読字・書字(ディズレクシア)に対してアレン症候群テストを行い、サポートの方法を決定し関係機関へ繋げ、自ら、その方法を使い学習できる様サポート。折り紙や粘土の遊びで指先の感覚を育てる。						ブレインジム、コーディネーショントレーニング、HIIT、原始反射統合、マイルストーンエクササイズ、ビジョントレーニング、ブレインパランス療法、感覚統合遊び、ダンス、体幹トレーニング、イヤーマフの使用。人の身体に触らないルール。アレン症候群判定キットの使用。	
	認知・行動	人間関係、社会性の土台となる認知力、想像力、実行機能向上の為にトレーニングを多種組み合わせで行う。生活スケジュールに沿って自ら行動できる様、リストを構造化しやることの見える化。アラームの設定で決めある生活を身に着ける。問題行動を共有し、利用者とのディスカッションを行い、怒りの感情について共感・処理の方法を教える療育を行う。それぞれが発表する場を設け、人前、全員が一致団結して会を創る。ダンスや音を使って認知力、調整力を育てる。安心して生活できる様、関係機関との連携を行う。自発的に行動できる様、ストレッチを活かしエンパワメントをサポート。ダンスやリズム(音)を使用し協調運動、認知力、空間認知力を育て自己コントロール力(抑制力)を身に着けさせる。お話を聞いて、その内容を記憶する事で集中力、記憶力、発言力を育てる。折り紙や粘土あそびで想像力、構想力を育てる。						空間認知、実行機能、ワーキングメモリを含む認知力向上トレーニング、目・手・耳の協調トレーニング、認知作業トレーニング(コグトレ)、アラームによって行動切替、アンガーマネジメント、ダンス、インタラクティブメトロノーム、スケジュール設定、インタラクティブメトロノーム、ダンス、ソーシャルスキルトレーニングとディスカッション、ライフスキルトレーニング、性教育、マインドフルネス、マインドフルネスカウンセリング、やる事リストの構造化、問題行動の共有とディスカッション。片付けの習慣づけ。お話の記憶。	
	言語 コミュニケーション	障害児向けソーシャルスキル教材を使用し、課題ごとに他者の感情を共感したり、他者に伝える言葉などを利用者同士でディスカッションし、適切な言葉で表現できる様、療育を行う。挨拶、敬語の使い方など、具体的な「言う事リスト」を掲示し、自発的に正しい言葉で意思が伝えられる支援、療育を行う。遊びをとおして言葉で伝える難しさ、集中力、人の話を聞くルールなどを教える。帰りの会での発表で人前力を育てる。読み書きの力をつける、土台となる各種エクササイズを行う。「できた！」と自信につなげる。困った時の助けの求め方を掲示し自ら発信できる様に支援。おたのしみ会では手話ソング、本人の「やりたい」を叶え発表する事で自信に繋げる。						ソーシャルスキルトレーニング、言うことリストの構造化、自立の為の見守る支援、悪い言葉の禁止。伝言ゲーム、ジェスチャーゲーム、フラッシュカード。原始反射統合、ビジョントレーニング、ブレインジム。おたのしみ会。	
	人間関係 社会性	問題行動が発生した場面を振り返り、感じたこと、共感することを整理し、利用者同士のディスカッションを行い、他者の意見を聞くことで認知の歪みに気づき、他者との関わり方を教える。ソーシャルスキル、ライフスキルトレーニングでは、モデリング療法を使い、問題行動を違和感と感じられたい行動ができる様、療育を行う。新しい利用者が仲間に入りやすい様、利用者の協力を得ながら気遣う気持ち育て、集団参加をサポート。店舗合同の活動で多数の異年齢同士が関わる機会を設ける。孤立化を防ぐ為、仲間同士が思いやりを持って接する力を発揮できる様、サポートを行う。マインドフルネスカウンセリングで自身の言動を振り返る時間を設ける。就労に向けた就労支援事業所の見学を行う。						ソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニング、モデリング療法、クッキング手伝い、異年齢との関わり、マインドフルネス(カウンセリング)。	
家族支援	保護者の相談には、いつでも対応できる体制を取り、子育てでの困りや兄妹、家族の相談など個別のペアレントトレーニング、個人面談、保護者会を定期的に行う。学校、役所、医療機関等との関係機関と連携会議を行い一体となって切れ目の無いサポートを行う。		移行支援				合理的配慮に必要な情報を保護者、関係機関と共有し、どこに居ても同じ様に支援が受けられる体制を整え、利用者がいきいきと一歩進んだステージで活躍できる様、会議、支援を行う。特別支援級から一般級に移行する際の手配や学校の理解など、関係機関と連携して会議を行い、サポートを行う。卒業後を見据えて就労訓練、就労体験、見学ができる様サポートを行う。		
地域支援・地域連携	保護者会、勉強会、他イベントには保護者以外の参加を呼びかけ、障害の理解、配慮の方法を伝える。支援が必要な利用者に対して、地域連携を図り効果的な支援を行う。市内療育部会への参加。沖縄アニマートグループ合同イベントへ参加、交流。		職員の質の向上				資格取得、単位取得のサポート。各種研修、講習に参加し療育プログラムの構築。日々の振り返りを毎日のミーティングで行い、必要な支援、体制を常にアップデートする柔軟な体制を取っている。職員全員が同じ支援ができる様、各種マニュアルを作成。定期的にマニュアル確認の為の自己評価を江戸屋独自で行っている。		
主な行事等	2月、8月の避難訓練(消防署の協力)に加えて防犯訓練、救命訓練。テーブルマナー講習、カラオケ大会、豆まき(節分)、誕生会、遠足、ポーリング大会、スイカ割り大会、夏祭り、年末おたのしみ会。卒業生を送る会、アニマートグループ・ピアノコンサート参加。子育て支援個人面談、保護者会、勉強会。関係機関連携会議の開催。								